2026 年 10 月 30 日
トラスコ中山株式会社
証券コード 9830（苦は去れ）

2026 年 12 月期（第 64 期） 第3四半期　決算ダイジェスト

連結売上高 2,660 億 81 百万円（前期比+12.1%）
経常利益 175 億 34 百万円(前期比+3.4%)

▌2026 年 12 月期（第 64 期）第3四半期　連結経営成績

・約 63 万アイテムの豊富な在庫と最先端の物流機器、そしてデジタルを組み合わせることによって実現する「ニアワセ＋ユーチョク®」（荷物詰合わせ+ユーザー様直送）など、お客様の利便性向上に向けた取組みを強化し、売上高は 2,660 億 81 百万円（前期比＋12.1%）となりました。

・2か所の新物流センターの稼働（5 月「プラネット愛知」、8 月「HC 東日本物流センター」）や、基幹システム再構築に伴う減価償却費の増加、昨年 7 月より実施した基本給の改定及び従業員数の増加等による給料及び賞与の増加、加えて売上拡大に伴う出荷量増加により運賃及び荷造費が増加し、販売費及び一般管理費は前期比＋13.5%となりました。

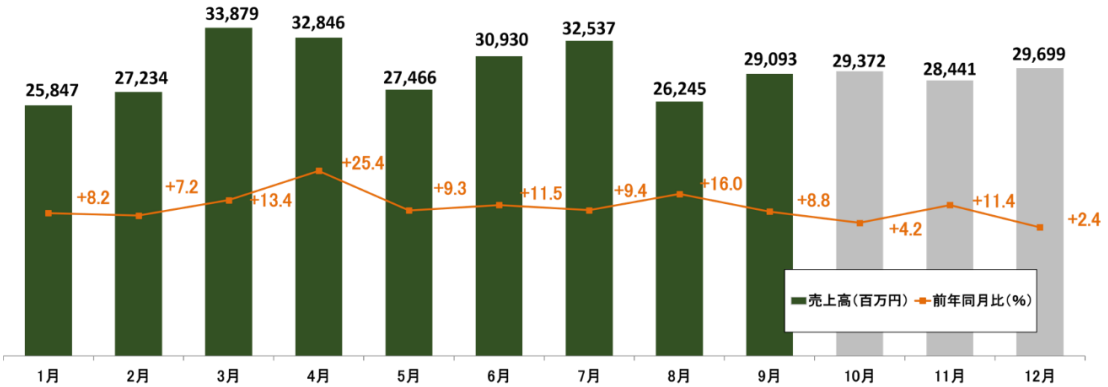
・通期予想につきましては、売上高は順調に推移するものの、新物流センターの稼働による減価償却費の増加や昨年実施した基本給の改定等による人件費増加の影響等により、当期純利益は前年を下回る見込みです。

以下予算はすべて 2026 年8月7日発表の修正予算です。

	2025 年 12 月期 実績			2026 年 12 月期 第3四半期 実績				2026 年 12 月期 予算	
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前期比	予算比	予算	前年比
売上高	3,200 億 43 百万円	－	+8.5%	**2,660 億 81 百万円**	－	**+12.1%**	**+1.4%**	3,500 億 00 百万円	+9.4%
売上総利益	667 億 31 百万円	20.9%	+8.2%	**549 億 42 百万円**	**20.6%**	**+10.5%**	**+0.8%**	729 億 00 百万円	+9.2%
販売費及び一般管理費	439 億 14 百万円	13.7%	+5.3%	**369 億 56 百万円**	**13.9%**	**+13.5%**	**△1.0%**	503 億 19 百万円	+14.6%
（うち減価償却費）	55 億 52 百万円	1.7%	△8.1%	**57 億6百万円**	**2.1%**	**+38.0%**	**△1.4%**	83 億5百万円	+49.6%
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	283 億 69 百万円	8.9%	+8.9%	**236 億 92 百万円**	**8.9%**	**+11.3%**	**+3.2%**	308 億 86 百万円	+8.9%
営業利益	228 億 16 百万円	7.1%	+14.2%	**179 億 86 百万円**	**6.8%**	**+4.9%**	**+4.7%**	225 億 80 百万円	△1.0%
経常利益	225 億 41 百万円	7.0%	+12.4%	**175 億 34 百万円**	**6.6%**	**+3.4%**	**+5.0%**	219 億 58 百万円	△2.6%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	158 億 81 百万円	5.0%	※ △1.3%	**121 億0百万円**	**4.5%**	**+4.4%**	**+5.0%**	151 億 27 百万円	△4.7%
1株当たり当期（四半期）純利益	240 円 84 銭	－	△3円 25 銭	**183 円 50 銭**	－	**+7円 75 銭**	－	229 円 42 銭	△11 円 43 銭
PB 売上高	519 億 45 百万円	16.3%	+2.9%	**425 億 62 百万円**	**16.0%**	**+8.5%**	－	550 億 50 百万円	+6.0%
設備投資額	200 億 27 百万円	－	△23.5%	**74 億 69 百万円**	－	**△42.3%**	－	132 億 29 百万円	―

※2024 年に旧大阪本社売却に伴う特別利益 26 億 67 百万円を計上していた影響により減少しています。

▌【連結】月次売上高



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1日当たり売上高(百万円)	1,360	1,513	1,613	1,564	1,525	1,405	1,478	1,312	1,531				1,478
前年同月比(%)	+ 8.2	+ 7.2	+ 8.0	+ 25.4	+ 21.4	+ 6.4	+ 9.4	+ 16.0	+ 14.5				+ 12.7
営業日数(日)	19	18	21	21	18	22	22	20	19	21	19	22	242
前年同月比(日)	±0	±0	+1	±0	△2	+1	±0	±0	△1	△1	+1	±0	△1

4、5月は中東情勢の影響により、供給不安を背景とした石油等を原料とする消耗品類の需要が高まり、1日当たり売上高が前期比で急拡大しました。

■【連結】セグメント別実績

	2025 年 12 月期 実績			2026 年 12 月期 第3四半期 実績					
	売上高		売上総利益率	売上高				売上総利益率	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	構成比	前期比	予算比	実績	前期末比
ファクトリールート	2,112 億 23 百万円	66.0%	20.6%	**1,736 億 7 百万円**	**65.3%**	**+10.1%**	**+1.4%**	**20.5%**	**△0.1pt**
eビジネスルート	769 億 60 百万円	24.0%	22.5%	**664 億 44 百万円**	**25.0%**	**+17.7%**	**+1.3%**	**22.3%**	**△0.2pt**
ホームセンタールート	283 億 96 百万円	8.9%	16.8%	**232 億 69 百万円**	**8.7%**	**+11.9%**	**+2.0%**	**16.0%**	**△0.8pt**
海外ルート	34 億 63 百万円	1.1%	35.2%	**27 億 60 百万円**	**1.0%**	**+12.6%**	**△3.7%**	**31.8%**	**△3.4pt**
全社合計	3,200 億 43 百万円	100.0%	20.9%	**2,660 億 81 百万円**	**100.0%**	**+12.1%**	**+1.4%**	**20.6%**	**△0.3pt**

売 上 高 **2,660 億 81 百万円（前期比+12.1%）**

（1）ファクトリールート 1,736 億 7 百万円 （前期比+10.1%）

① 全国 30 か所の物流センター及び 30 か所の在庫保有支店において、在庫・物流機能を強化することで、得意先様の利便性が向上し、商流の集約が進みました。

② ユーザー様の敷地内に設置する置き薬ならぬ置き工具「MRO ストッカー」の新規導入の加速や既存導入先との接点強化、ユーザー様商品引取りサービス「ユークル」の利用を促進するなど、ユーザー様の課題やニーズに合わせた営業活動を積極的に行いました。

（2）eビジネスルート 664 億 44 百万円（前期比+17.7%）

① ユーザー様直送サービスの要となる I-Pack®（アイパック） [高速自動梱包出荷ライン]を導入した6か所の物流センターを中心に、全国の物流センターを最大限に活用することで、納期精度向上を主軸としたサービスの拡充を進めました。eビジネスに必要な高品質かつ得意先様ごとに合わせたサービスを提供し、他社との差別化を図ることで利便性が向上し売上高の増加につながりました。

② 約 415 万アイテムに及ぶ商品・在庫のデータを得意先様のシステムと連携させることで、検索性の向上や納期短縮、を実現し、販売拡大を図りました。

（3）ホームセンタールート 232 億 69 百万円（前期比+11.9%）

① 建築現場などで働くユーザー様をターゲットとしたプロショップなど、各得意先様に対し売場提案や商流集約に向けた営業活動を強化しました。

② EC 事業を強化している得意先様に対し、当社の約 63 万アイテムに及ぶ在庫と物流設備を活用したサービスを積極的に提案しました。

（4）海外ルート 27 億 60 百万円（前期比+12.6%）

① 連結子会社では市場ニーズに即した現地仕入れや直接貿易での仕入れを強化することで、価格競争力を活かした営業活動を行いました。またローカル企業を中心とした現地得意先様の新規開拓を進めることで販売活動を強化しました。

② 海外部諸外国向け販売では、新規得意先様開拓と既存の得意先様との協業強化を中心に行い、取引を拡大しました。

売 上 総 利 益 **549 億 42 百万円（前期比+10.5%） 売上総利益率 20.6%（前期末比 △0.3pt）**

・売上高増加により売上総利益が拡大しました。価格改定による在庫商品の評価益は、約 8.5 億円を計上しています。
売上総利益率は評価益が昨年より 5.9 億円減少した影響等により低下しました。

販売費及び一般管理費 **369 億 56 百万円（前期比 +13.5%） 売上高構成比 13.9%**

・プラネット愛知および HC 東日本物流センターの稼働に伴うマテハン設備・建物、ならびに基幹システム再構築による影響で減価償却費が増加(前期比+15 億 71 百万円)しました。

・昨年 7 月に行った基本給の改定及び従業員数の増加等により給料及び賞与が増加(前期比+13 億 64 百万円)しました。

・出荷量の増加等に伴い、運賃及び荷造費が増加(前期比+11 億 80 百万円)しました。※ユーザー様直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいております。

【本件問い合わせ先】トラスコ中山株式会社 経営管理本部 経営企画部 広報 IR 課
〒105-0004 東京都港区新橋四丁目 28 番 1 号 トラスコ フィオリートビル 10F
TEL：03-3433-9840 FAX：03-3433-9881 E-mail：info@trusco.co.jp